

大村市が処理場脱硫塔改築工事で「ウルトラパッチ」

ルポ

長崎県大村市は下水処理場内の脱硫塔改築工事として、阿南電機が販売・

センターにおいて、標準活性汚泥法による水処理を開始した。

2024年度末現在で処理区域内人口は8万9079人、市全域の汚水処理人口普及率は99・5%となっている。

同センターは供用開始から40年以上が経過し、汚泥処理施設内の脱硫塔も一部補修が必要になったため、

脱硫塔改築工事に着手し、その補修方法として、溶接部への鉄

の外面に貼り付け、紫外線照射で硬化させることにより、強靱な被覆を形成する補修材。水道や下水道などの各施設で約700件採用されている。

また、水道技術研究センターの水道における新技術事例集(AQUALIST)にも、「ウルトラパッチ」による水管橋な

「ウルトラパッチ」を初めて採用した。本紙では同市の「ウルトラパッチ」の採用背景や効果、今後の採用予定などについて、上下水道局下水道施設課の担当者にか

ただ、湾曲部が多く、曲げ加工が必要であることや、溶接による火気使用に備えた充填脱硫剤の抜き取り、新しい脱硫剤の補充などが必要となるため、多額の費用や長期の工期を要することが試算された。

これらを踏まえ、同市は対応を協議した結果、「ウルトラパッチ」による補修を採用した。「ウルトラパッチ」は、補修箇所

の外面に貼り付け、紫外線照射で硬化させることにより、強靱な被覆を形成する補修材。水道や下水道などの各施設で約700件採用されている。

また、水道技術研究センターの水道における新技術事例集(AQUALIST)にも、「ウルトラパッチ」による水管橋な

同市上下水道局下水道施設課の担当者は「ウルトラパッチ」は特別な器具を使用せず、任意の形にカットできるなど施工が簡単な上、貼り付け補修部が紫外線で強力に接着するので、施工時間が短くて済みます。充填

脱硫剤の抜き取りや火気の使用もなく、安全に工期短縮やコスト削減を図ることができ、無事に補修が完了しました」と感想を述べる。

「ウルトラパッチ」を初めて採用した。本紙では同市の「ウルトラパッチ」の採用背景や効果、今後の採用予定などについて、上下水道局下水道施設課の担当者にか

ただ、湾曲部が多く、曲げ加工が必要であることや、溶接による火気使用に備えた充填脱硫剤の抜き取り、新しい脱硫剤の補充などが必要となるため、多額の費用や長期の工期を要することが試算された。

これらを踏まえ、同市は対応を協議した結果、「ウルトラパッチ」による補修を採用した。「ウルトラパッチ」は、補修箇所

の外面に貼り付け、紫外線照射で硬化させることにより、強靱な被覆を形成する補修材。水道や下水道などの各施設で約700件採用されている。

また、水道技術研究センターの水道における新技術事例集(AQUALIST)にも、「ウルトラパッチ」による水管橋な

同市上下水道局下水道施設課の担当者は「ウルトラパッチ」は特別な器具を使用せず、任意の形にカットできるなど施工が簡単な上、貼り付け補修部が紫外線で強力に接着するので、施工時間が短くて済みます。充填

脱硫剤の抜き取りや火気の使用もなく、安全に工期短縮やコスト削減を図ることができ、無事に補修が完了しました」と感想を述べる。

「ウルトラパッチ」を初めて採用した。本紙では同市の「ウルトラパッチ」の採用背景や効果、今後の採用予定などについて、上下水道局下水道施設課の担当者にか

ただ、湾曲部が多く、曲げ加工が必要であることや、溶接による火気使用に備えた充填脱硫剤の抜き取り、新しい脱硫剤の補充などが必要となるため、多額の費用や長期の工期を要することが試算された。

これらを踏まえ、同市は対応を協議した結果、「ウルトラパッチ」による補修を採用した。「ウルトラパッチ」は、補修箇所

の外面に貼り付け、紫外線照射で硬化させることにより、強靱な被覆を形成する補修材。水道や下水道などの各施設で約700件採用されている。

また、水道技術研究センターの水道における新技術事例集(AQUALIST)にも、「ウルトラパッチ」による水管橋な

同市上下水道局下水道施設課の担当者は「ウルトラパッチ」は特別な器具を使用せず、任意の形にカットできるなど施工が簡単な上、貼り付け補修部が紫外線で強力に接着するので、施工時間が短くて済みます。充填

脱硫剤の抜き取りや火気の使用もなく、安全に工期短縮やコスト削減を図ることができ、無事に補修が完了しました」と感想を述べる。

腐食穴の補修を短期に 火気使用などなく安全施工

大村市は長崎県中央部に位置し、単独公共下水道事業は1973年に基本計画を策定した後、市内中心部から分流式で整備を開始した。1981年4月には大村浄水管理

ただ、湾曲部が多く、曲げ加工が必要であることや、溶接による火気使用に備えた充填脱硫剤の抜き取り、新しい脱硫剤の補充などが必要となるため、多額の費用や長期の工期を要することが試算された。

これらを踏まえ、同市は対応を協議した結果、「ウルトラパッチ」による補修を採用した。「ウルトラパッチ」は、補修箇所

の外面に貼り付け、紫外線照射で硬化させることにより、強靱な被覆を形成する補修材。水道や下水道などの各施設で約700件採用されている。

また、水道技術研究センターの水道における新技術事例集(AQUALIST)にも、「ウルトラパッチ」による水管橋な

同市上下水道局下水道施設課の担当者は「ウルトラパッチ」は特別な器具を使用せず、任意の形にカットできるなど施工が簡単な上、貼り付け補修部が紫外線で強力に接着するので、施工時間が短くて済みます。充填

脱硫剤の抜き取りや火気の使用もなく、安全に工期短縮やコスト削減を図ることができ、無事に補修が完了しました」と感想を述べる。



ウルトラパッチの貼付後



施工前の脱硫塔